

2016年8月3日

## 富士重工業 2017年3月期 第1四半期連結業績の概要

### <2017年3月期 第1四半期業績：連結売上高>

スバル車の全世界販売台数は、前年同期比 8.9%増の 245 千台となりました。国内販売では、軽自動車が前年を下回ったものの、登録車ではフォレスター、インプレッサなどが順調であったことから、同 11.3%増の 31 千台となりました。海外販売では、北米を中心にレガシィ/アウトバック、インプレッサ/クロストレック\*1などが好調に推移し、海外合計では同 8.5%増の 214 千台となりました。

連結売上高は、為替変動の影響や販売台数の増加などにより、同 0.5%増の 7,694 億円となりました。

なお、全世界販売台数、海外販売台数、北米販売台数、連結売上高のいずれも第1四半期として過去最高\*2となりました。

### <2017年3月期 第1四半期業績：連結損益>

連結損益は、販売台数の増加や原価低減の進捗等があったものの、為替変動の影響があったことに加え、エアバッグインフレーターに起因する品質関連費用を中心とした諸経費等ならびに試験研究費が増加したことにより、営業利益が前年同期比 24.3%減となる 1,015 億円となりました。経常利益は同 8.7%減の 1,188 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同 6.3%減の 789 億円となりました。

### <2017年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、前回予想に対して、為替変動およびエアバッグインフレーターに起因する品質関連費用見通しを織り込み、売上高 3 兆 1,900 億円、営業利益 4,000 億円、経常利益 4,100 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 2,850 億円へと修正します。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥106/US\$、¥121/EURO です。

※前回（2016年5月12日）公表の通期連結業績見通し

連結売上高 3 兆 1,700 億円、

営業利益 4,200 億円、経常利益 4,200 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 2,930 億円、

想定為替レート ¥105/US\$、¥120/EURO

\*1：日本名 SUBARU XV

\*2：四半期連結決算の開示を始めた 2004 年 3 月期以降の過去最高

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。